

校報ねどる

岩出市立根来小学校
学校だより No.22
令和3年2月15日
文責：柏木



負のスパイラルを断ち切るために

「2月は逃げる」と言うように、2月もあっという間に過ぎていきます。

また、この時期は、「三寒四温」（寒い日が3日くらい続くと、そのあとに比較的暖かい日が4日続く寒暖の7日の周期）の言葉の通り気温の変化が見られます。1年生が植えたチューリップの球根からも芽が出て、徐々に春の訪れが目でも感じられるようになってきました。寒さに耐えたからこそ、春の訪れとともにきれいな花を咲かせてくれることを今から楽しみにしています。

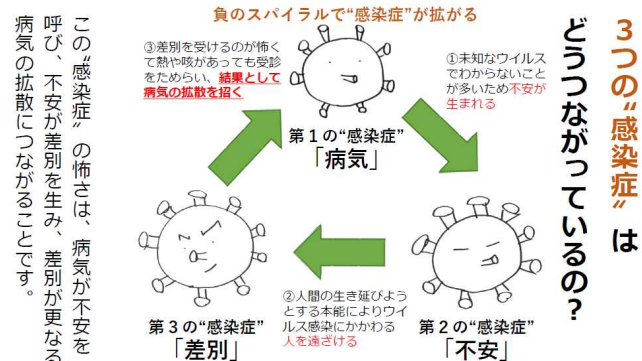
さて、先日「令和2年度 地区別人権学習会」に出席してきました。今回は、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」と題して、日赤和歌山の先生が講演されました。講演の内容は、日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を基に話されました。以下のリンクに資料掲載（http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html）

私自身、日赤が作成した資料については、以前から知っていましたが、改めて確認し考えることが出来ました。

3つの顔（感染症）とは、第1は「病気そのもの」、第2は「不安と恐れ」、第3は「嫌悪・偏見・差別」です。

私たちは、見えない敵（ウイルス）に対して「不安や恐れ」を抱きます。それが、どんどん膨らんでくると、特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象にすり替えてしまいます。その結果、嫌悪の対象を偏見や差別して遠ざけることでつかの間の安心感を得ようとします。この時には、本来の敵であるウイルスを見なくなってしまいます。実は、その間にも自分も言われるんじゃないかと不安が大きくなり、負のスパイラルがより大きくなってきます。

これらの負のスパイラルを防ぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？第1（病気）は、一人一人が衛生行動を徹底（「手洗い」「咳エチケット（マスク）」「密を避ける」）すること。第2（不安と恐れ）にふりまわされないために、「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を高めること。そして、第3（嫌悪・偏見・差別）



をふせぐためには、「確かな情報」を拡め、差別的な言動に同調しないようにすること。これらのことは、当たり前のことなんだけれども、心や体が弱っていると感染してしまう可能性があります。そうならないためにも、自分ができることをしていくことが大切ですね。

4年生以上の子どもたちは、「ウイルスの次にやってくるもの：日本赤十字社」の動画を観ました。内容は、「恐怖に餌を与えない」「立ち止まって考えよう」「恐怖から距離を取る」「恐怖や差別的な根っこには、過剰な防衛本能がある」「冷静に客観的に恐怖を見つめれば、恐怖は薄れていく」「恐怖の嫌がることをする（笑顔と日常）」「恐怖は誰の心の中にもいる」「だから励ましあおう、応援しあおう」「人は団結すれば恐怖よりも強く、賢い」「正しく知り、正しく恐れる」「今日、私たちのできることを、それぞれの場所で」ウイルスの次にやってくるものが、恐怖と憎しみではなく、愛と希望になりますように。



各ご家庭でも子どもたちと一緒に視聴いただき、出来ることを考えて見ていただければと思います。

ボランティアさんやゲストティーチャーとの結びあい、学びあい、支えあい

6年・調理実習

1年・動物の赤ちゃん

6年・喫煙防止教室

根来保育所（年長）との交流

1年生が、根来保育所の年長さんと交流会をしました。小学校での勉強のことなどをわかりやすく発表していました。その姿を見ると、1年間の成長が見ることの出来る交流会でした。